

授業改善等に関する報告書（2021 年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2021（前期）図書館学課程] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
図書館実習	須賀千絵	新型コロナウイルスの感染拡大により、対面授業からメディア授業に切り替えざるをえない時期があったことから、授業の進行にも大きな影響があった。しかし講師の指示のもとで、受講生が積極的に学習に取り組んでくれたことから、予定の内容をこなすことができた。受講生の学習への取り組みの姿勢を高く評価する。
図書館情報資源概論 a	安藤友張	教科書を指定した授業であったが、教科書の内容を完全消化できなかった。無味乾燥な授業にならぬように、著作権に留意しつつ、映像を活用した授業を実施した。オンデマンド型授業の限界を感じつつも、オンデマンド型授業の長所を最大限活用していきたい。
図書館概論	須賀千絵	授業の進め方や内容について、特に大きな不満や問題点の指摘はなかったが、一部にレポートの説明がわかりにくいという指摘も見られた。一方、授業中にレポートに関する質問は出ていないので、何がわからないのかわからないという状況であったように推測している。第2回レポートで、他の科目のレポート執筆状況を把握することができ、レポート執筆でつまづきやすい点もわかってきたので、今後、出題時の「レポートの書き方」の指導をより丁寧に行う予定である。
図書館情報資源概論 a	新藤透	アンケート拝見しました。 概ね肯定的な評価で安心しました。 ご意見を参考にして来年度の授業に活かしたいと思います。
学習指導と学校図書館	安藤友張	本科目は例年、グループワークを導入しており、アクティブラーニングを実践してきた。本年度はオンデマンド型授業だったので、グループワークを実施できず、残念であった。効果的双方向型の授業方法を模索していきたい。
学校経営と学校図書館	安藤友張	授業映像の内容であるが、古い情報が一部含まれていた。来年度に向けて、情報を更新を図りたい。100分授業であったが、1回分の授業につき、100分を超える授業時間の映像が配信されている回があった。授業時間の量的バランスを配慮するようにしたい。
図書館概論	須賀千絵	授業の進め方や内容について、特に大きな不満や問題点の指摘はなかったが、一部にレポートの負担が大きいという意見があった。コロナ禍以前に比べて、レポートや毎時間の授業確認の量は2/3程度に減らしており、資格に見合う内容を保障するためにも、これ以上、減らすことは考えていない。しかし出題時の説明を手厚くすることで、負担感を減らしていくことを検討している。またレポートの回数を減らすことは、特定のレポートや試験の比重が過度に高くなるため、学生にとって望ましくないと考えている。
児童図書館サービス論 a	須賀千絵	今年度は、コロナ禍でやむをえず、オンライン授業のため、本の紹介にも制約がある中での授業であった。アンケートで対面授業を求める意見が見られたのももっともであると思う。特に授業に対する不満や問題点は指摘されなかったが、実際に学生が資料に触れる機会がほとんどなかったことは残念だった。
読書と豊かな人間性	安藤友張	本科目は例年、ビブリオバトル（プレゼンテーション）を導入しており、アクティブラーニングを実践してきた。本年度はオンデマンド型授業だったので、グループワークを実施できず、残念であった。効果的双方向型の授業方法を模索していきたい。
学校経営と学校図書館	安藤友張	授業映像の内容であるが、古い情報が一部含まれていた。来年度に向けて、情報を更新を図りたい。100分授業であったが、1回分の授業につき、100分を超える授業時間の映像が配信されている回があった。授業時間の量的バランスを配慮するようにしたい。
児童図書館サービス論 a	須賀千絵	今年度は、コロナ禍でやむをえず、オンライン授業のため、本の紹介にも制約がある中での授業であった。アンケートで対面授業を求める意見が見られたのももっともであると思う。一方、オンデマンドで十分という意見もあったが、今学期はオンデマンドでできる内容に切り替えていて、そもそも対面でしかできない内容は割愛している。特に授業に対する不満や問題点は指摘されなかったが、実際に学生が資料に触れる機会がほとんどなかったことは残念だった。